

比^ひ

婆^ば

山

伝

説

南部町内には、オオクニヌシノミコトの母親イザナミノミコトの墳墓^{ふんぼ}だと云われる山が二つあります。一つは、福成地内にある母塚山^{はつかさん}、一つは、御内谷地内にある大蔵山^{おおくらやま}です。真実はいまだ解明されていませんが、古代史に残る歴史ロマンです。



福成地内から見た母塚山



御内谷集落の後方に見える大蔵山

母塚山は母親山と古くから伝えられ、オオクニヌシノミコトの兄弟ヤソガミたちが母親を埋葬^{まいそう}した山だと天津地域では語り継がれ、麓^{ふもと}には、埋葬した後のミソギをしたと云われるフロヤがあり、今もこんこんと水が湧き出ています。



山頂駐車場にある母塚山の案内看板



「ふるさと交流センター」近くにあるフロヤ

大蔵山の山腹にある巨大石^{きょだい}は、日本では珍しい巨石崇拜遺跡^{めすら}(きよせきすうはいいせき)だと、1926年(大正15年)に調査した鳥居龍蔵(とりいりゅうぞう)博士は語っています。「天宮さん」として参拝する人も多かった巨大石のなぞは、学問的な解明はその後なされていません。



大蔵山の麓にある天宮さんの案内看板



天宮さんと崇拝される巨大な石